

1. 自己紹介をしよう

全体の流れ

準備 活動の説明をする（10分）

自己紹介の表現を導入・練習する（30分）

交流学习事例1 発信) 名刺を作成する（45分）

受信) もらった名刺を読み、それを使ってロールプレイをする（45分）

交流学习事例2 発信) パワーポイント資料を作成する（45分）

受信) パワーポイント資料を見て内容を理解する+コメント、質問を書く（45分）

交流学习事例3 発信) ビデオレターを作成する（45分）

受信) ビデオレターを見て、内容を理解する+コメント、質問を書く（45分）

役に立つ表現

- はじめまして。처음 뵙겠습니다.
- 私は～です。저는 ~ 입니다.
- 私は 高校（1/2/3）年生です。 저는 고등학교（1/2/3）학년 학생입니다.
- ～が好きです。～를/을 좋아합니다.
- ～も好きです。～도 좋아합니다.
- どうぞよろしくお願いします。잘 부탁드립니다.

ことば

好きなものやことを表すことば

音楽	음악
読書	독서
スポーツ	스포츠
ドラマ	드라마
カラオケ	노래방
ゲーム	게임
インターネット	인터넷
アニメ	애니메이션
まんが	만화

国の名前

韓国 한국
日本 일본

パワーポイント教材例（日本語クラス用）

パワーポイント教材例（韓国語クラス用）

テーマ	1 - 1 オリジナル名刺を送ろう
目標	習った言語で名刺を作り、自己紹介しながらそれを交換することができる。
形態	非対面
教具・教材	名刺カード、色ペン、シール（プリクラ写真）など
生徒が行う活動 参照プリント <u>韓国語クラス</u> <u>日本語クラス</u>	<p>1) 準備</p> <p>①かな表やハングル表を見ながら、学習言語での自分の名前の書き方を確認する。 ②自分の学校の名前と学年の書き方を練習する。 ③自己紹介の表現を確認する。</p> <p>2) 名刺カードの作成</p> <p>①名刺サイズに切ったカードをもらい、自分の学校名・学年・自分の名前を書く。 ②好きなシールなどを貼ってオリジナルの名刺に仕上げる。 ③自己紹介の表現を確認し、クラスメートと名刺交換の練習をする。</p> <p>3) 相手校から届いた名刺を読む</p> <p>①交流相手校の生徒の名刺を受け取り、書かれた文字をかな表やハングル表を助けにして読む。 ②教師に名前の読み方を確認する。 ③もらった名刺を見て、名前の表記の特徴、気がついたこと、印象などをクラスで話し合う。</p>
ポイント	・かな表やハングル表を活用する。
バリエーション	<ul style="list-style-type: none"> ・相手校からパワーポイント資料やビデオレターが届いている場合には、それらを見ながら名刺とマッチングする練習もできる。 ・名刺をカルタの代わりにして、名前を呼んで名刺を早くとるという「カルタ取りゲーム」に応用することもできる。

テーマ	1 - 2 自己紹介パワーポイントを送ろう
目標	自分の名前・学校・学年を言い、初対面の挨拶ができる。
形態	非対面
教具・教材	パソコン（パワーポイントソフト）
生徒が行う活動 参照プリント <u>韓国語クラス</u> <u>日本語クラス</u>	<p>1) 準備</p> <p>①教師が作った自己紹介パワーポイント資料を見る。 ②使用されている自己紹介の表現の意味を推測し、発表を聞いた後、確認する。 ③自己紹介の表現を確認し、発音してみる。 ④自己紹介の表現に自分の名前、学校名、学年をあてはめて文を作る。 ⑤クラスの写真を撮影する。（個人またはグループで）</p>

	<p>2) 自己紹介パワーポイント資料の作成</p> <p>①パソコンのパワーポイントソフトを起動し、撮影した写真を挿入する。</p> <p>②パソコンのプログラム「アクセサリ」から「サウンドレコーダー」を起動し、一人ずつ自己紹介の文を学習言語で録音し、保存する。さらに、母語による自己紹介の文も録音し、保存する。</p> <p>③パワーポイントの自己紹介ファイルに②の音声ファイル（学習言語版・母語版）を挿入する。</p> <p>④自己紹介ファイルに作成した自己紹介文（スクリプト）を母語で入力する。</p> <p>⑤完成したら、クラスで見て確認し、相手校に送る。</p> <p>3) 相手校の自己紹介ファイルの理解</p> <p>①相手校から届いた自己紹介ファイルを見る（聞く）。</p> <p>②学校の名前や学年などを確認する。学習言語で話された内容でわからない部分について教師に質問する。</p> <p>③自己紹介ファイルを見て、気がついたことについてクラスで話し合う。</p> <p>④自己紹介ファイルを見た感想・コメントを母語で書いて送る。</p>
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・相手校の生徒が授業で使用できるよう、学習言語と母語の両方でスクリプトを準備する。 ・音声を録音するときには、マイクを使用すると音質が良くなる。
バリエーション	<ul style="list-style-type: none"> ・相手校の自己紹介ファイルが既に届いている場合には、最初に先生の資料を見せる前に届いたものを見せても良い動機付けになる。3) ⇒ 1) ⇒ 2) の順に進めても良い。 ・学習言語での入力の仕方を学んだ後であれば、スクリプトを学習言語で入力することもできる。

テーマ	1 - 3 自己紹介ビデオレターを送ろう
目標	自分の名前・学校・学年・好きなものが紹介できる。
形態	非対面
教具・教材	ビデオカメラ、PC（ビデオ再生ソフト）
生徒が行う活動	<p>1) 準備</p> <p>①自分の名前・学校・学年・好きなもの（人）の名前を入れて自己紹介の文を作る。</p> <p>②自己紹介の文のほかに、クラス全体で相手校の生徒にどんなメッセージを伝えるかを話し合う。（歌、質問など）</p> <p>③自己紹介文を、紙を見ないでも言えるように練習する。</p> <p>④ビデオレターに加えるメッセージ（②）を話す練習をする。</p> <p>2) ビデオレターの作成</p> <p>①個人またはグループごとに、リハーサルをする。</p>
参照プリント 韓国語クラス 日本語クラス	

	<p>②リハーサル後、自己紹介文を発表し、その様子をビデオカメラで録画する。好きなもの（人）の紹介のときにはその実物や関連写真などを持って見せながら学習言語と母語の両方で話す。</p> <p>③録画したビデオの内容をチェックし、相手校に送る。</p> <p>3) 相手校のビデオレターの理解とフィードバック</p> <p>①相手校からビデオレターが届いたら、クラス全体で視聴しながら生徒の名前とその生徒が話した内容を確認する。</p> <p>②聞き取った内容を確認する。</p> <p>③相手校の生徒へビデオレターの感想や質問を母語で書いて送る。 (教師が相手校の先生に送り、フィードバックしてもらう)</p>
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオカメラにマイクを取りつけ、音声を拾いやすくする。 ・動画を撮影するので、動きがある内容にする。 ・携帯電話やデジタルカメラの動画撮影モードでも撮影できる。相手校で再生できる動画のファイル拡張子になっているかを確認する。
バリエーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオレターの内容について、簡単な〇×クイズなどを用意し、聞き取り練習を行うことができる。

生徒の反応



日本語が上手！



漢字が多い！



自己紹介パワーポイント資料のインパクトは大きく、その後続く交流活動に対する期待感が一気に高まった。韓国語クラスでは韓国の名前をまず提示して読み、その音から男子か女子かを想像させ、次に写真を見せて相手の生徒を紹介したが、漢字で書かれた名前から性別を推測することが容易なものや難しいものがあり、日本人の名前との共通点や相違点に気づききっかけになったようである。また、写真や音声はたくさんの興味深い情報を生徒に与えてくれた。既にパートナーが決定した後に資料を交換しているため、「〇〇さんへ」という宛名もついており、相手の生徒が自分のために作ってくれた資料であるという実感を得ることができた点も、生徒のモチベーションを引き上げた要因の一つであると推察する。名刺に書いてある手書きの名前の判読は易しくはなかったが、教科書に書いてある文字と手書きの文字とを見比べ、教師の助けを借りながら読みを理解することができた。

日韓比較ミニコーナー

日韓の文字